

NEWS

第25回 全国LD親の会公開フォーラムのご案内 学び方の違う子どもたちへのサポート ～通常学級における個別最適な学びのためのICT活用～

GIGA端末の導入によりタブレット活用は広がりましたが、指導方法が確立されていないため、学び方の違う子どもたちへの個別最適な学びには十分つながっていないのが現状です。地域や教員間で大きな格差が生じており、多様な子どもたちが学習内容へアクセスでき、自分に合った学び方を選べる環境づくりが求められています。本フォーラムでは、初等教育から高等教育まで各段階での現状と課題をふまえ、一人ひとりの子どもの学びを支える学習環境について考えます。

配信期間：2026年7月1日（水）～7月31日（金）オンデマンド（録画）配信
視聴料：会員・一般 2,000円（会員は6月14日のライブ配信を無料で視聴できます）

<プログラム>

基調講演「学びが支える子どもの未来～当事者の声から学校のあり方を考える～」
講師：井上賞子氏（島根県公立小学校教諭）

シンポジウム「個別最適な学びとは何か？」

話題提供①「小学校における多様な学び方を支える生成AI活用」
講師：遠藤隆平氏（岡山市公立小学校教諭）

話題提供②「中学における合理的配慮の先に」
講師：井上賞子氏（島根県公立小学校教諭）

話題提供③「障害のある高校生における学習者用端末の活用状況調査
～進学を見据えたICT活用～」
講師：佐々木銀河氏（筑波大学人間系准教授）

お申込み：右の二次元バーコードまたは下記URLからお申し込みください。

URL> <https://forum2026ondemand-jpald.peatix.com>

申込期間：2026年4月7日（火）～ 7月20日（月） 詳細はHPをご覧ください。



ご案内

第19回 総会・第25回 公開フォーラムのご案内

第19回総会および第25回全国LD親の会公開フォーラムを下記の日程で行います。
今年度は午前中に総会、午後から公開フォーラムをオンラインにて開催します。
総会議案書・議決権行使書等については、5月上旬に各会あてにメールにてお知らせいたします。
公開フォーラム（ライブ配信）の申込みは、所属会を通してお申し込みください。

日時：2026年6月14日（日）オンライン開催
10:00～11:30 第19回総会
12:30～16:00 第25回公開フォーラム（シンポジウム ライブ配信）



発達障害児の支援に必要な知識やスキルが学べます！

特別支援教育支援員、学習支援員、介助員だけでなく、学童保育・放課後等デイサービスなど発達障害児の支援を行っている方に必要な知識やスキルを織り込んでいます。平成21-22年度文部科学省の委託事業で策定したカリキュラムに沿った講座で、配信期間中、ご自宅等で何度も講義を視聴することができます。



◆プログラム

※詳しくは全国LD親の会のHPをご覧ください。→



2026年8月19日（水）～8月31日（月）配信

- 1、特別支援教育概論 100分
竹田契一先生(大阪教育大学名誉教授)
- 2、学校・学級での支援の仕方 60分 担任との連携の仕方 30分
小田浩伸先生(大阪大谷大学教育学部教授)
- 3、子どもへの対応の基本 90分
笹廣みさき先生(一般社団法人発達支援ルームまなび理事)

2026年9月2日（水）～9月14日（月）配信

- 4、主な障害の特性と理解(知的、身体、視覚、聴覚) 90分
- 5、主な障害の特性と理解(発達障害) 90分
花熊暁先生(愛媛大学名誉教授)
- 6、ペアレント・トレーニングの視点 90分
今村佐智子先生(一般社団法人発達支援ルームまなび理事)

2026年9月16日（水）～9月28日（月）配信

- 7、社会性コミュニケーションの困難とサポート方法 90分
- 8、行動面の困難とサポート方法 90分
伊丹昌一先生(梅花女子大学心理こども学部心理学科教授)
- 9、介護・介助の基礎、移動介助 90分
小田浩伸先生(大阪大谷大学教育学部教授)

2026年9月30日（水）～10月12日（月）配信

- 10、聴覚障害への対応方法 60分
能美由希子先生(筑波技術大学障害者高等教育研究支援センター)
- 11、視覚障害への対応方法 60分
氏間和仁先生(広島大学大学院人間社会科学研究科教授)
- 12、自立生活面の困難とサポート方法 60分
- 13、学校生活面の困難とサポート方法 60分
松久眞実先生(桃山学院大学人間教育学部教授)

2026年10月14日（水）～10月26日（月）配信

- 14、特別支援教育コーディネーターからのレクチャー 90分
今村佐智子先生(一般社団法人発達支援ルームまなび理事)
- 15、支援員として活動して 60分
支援員3名・今村佐智子先生
- 16、読み書きの困難とサポート方法 80分
- 17、言葉(聞く、話す)の困難とサポート方法 40分
村井敏宏先生(学校法人青丹学園 フラールL.C.所長)

2026年10月28日（水）～11月9日（月）配信

- 18、算数の困難とサポート方法 120分
栗本奈緒子先生(大阪医科薬科大学LDセンター言語聴覚士)
- 19、教材・教具の利用方法 120分
山田充先生
(大阪市教育委員会インクルーシブ教育推進室通級アドバイザー)

◆受講費：

- ・一般 21,430円
(テキスト代1000円・送料430円込)
- ・会員 17,430円
(テキスト代1000円・送料430円込)

◆受講申込方法

(1) お申込み

【一般】peatix申込ページから

<https://supporters2026-jpald.peatix.com>



【会員】会員専用申込ページから

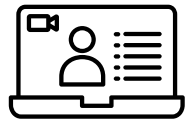
<https://forms.gle/JrhpzR2WDQqgik4A>



(2) 募集期間：

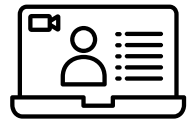
2026年4月7日～7月20日

全講習を受講した方に、
講座修了証をお渡しします。



- ◆テーマ：「大学在学中の職業準備と卒業後の進路の課題」 2025年11月15日開催 30名参加
講師：朝日雅也氏（埼玉県立大学 名誉教授）

朝日先生より、障害者雇用の実態・大学における対応と課題・職業準備のポイント等について、詳しくお話しいただきました。「本人の希望（ニーズ）を実現するために必要な支援を探すこと」「支援対象者の全人的理解がスタート」とのお話が心に響きました。とかく自己理解という「障害特性の理解」のように捉えられがちですが、まさに「全人的理解」が大切なのだと再認識できました。働くためのセルフマネジメント力や社会性など、本人に求められるスキルもありますが、就労支援制度もうまく利用しながら、本人の希望を実現するために早い時期から準備していくことが大切だと感じました。ご講義の後、大学での合理的配慮や在学中の就職活動について「親がどこまで介入したらよいか？」といった参加者からの質問にも丁寧にお答えいただきました。



- ◆テーマ：「通常の学級における個別最適な学びと協働的な学び」
2025年12月14日開催 51名参加
講師：笹森洋樹氏（常葉大学 教育学部初等教育課程教授）

2024年12月、文部科学省から義務教育の在り方ワーキンググループ審議まとめの報告があり、「個別最適な学びと協働的な学び」を進めていく方向が示されたことを受け、教育課程の枠組みに関する事項や教科横断的な事項を中心に審議が行われ、その暫定的な論点整理が2025年9月に示されました。次期学習指導要領に向けての基本的な考え方として通級指導を含め、大きな改革案となっています。今後の通常の学級における全体の学習の進め方とLDのある子どもへの支援などについて、笹森先生より、特別支援教育ワーキンググループの検討事項を中心に分かりやすく解説していただきました。親の会として今後の進展にも注目していきたいと考えています。

<参加者の感想>

- ・学習指導要領の改訂に伴い、どのような方向への動きになっているのか参考になりました。まだまだ現場での合理的配慮が追いついていないもどかしさも感じました。

- ◆テーマ：勉強会&懇談会 「厚生労働省発達障害者施策」
2026年2月1日開催 46名参加
講師：西尾大輔氏（厚生労働省 障害福祉課 発達障害対策専門官）

発達障害に関する福祉施策について、基本的な概要から具体的な事業まで分かりやすくお話しいただきました。様々な実態調査やニーズ調査も行われており、厚労省・文科省・こども家庭庁の連携が進んでいることも分かりました。質疑応答では、各地域の現状や親の思いを伝えることもでき、多くの質問にも丁寧に答えていただいて学びを深めることができました。改めて親の会としてニーズを伝え、地方行政に働きかけていかねばと感じました。

<参加者の感想>

- ・とても聴きやすく、最後まで諦めず（何がなんだか分からなくならず）聞けました。自分が住んでいる市ではちゃんとやってくれているのか、働きかけていきたいと思いました。
- ・質疑応答では全国の仲間たちが考え行動していることも分かり、わたしも頑張らなければと思いました。

全国各地の役員が、活動について相談や情報交換ができるよう「役員交流会」を定期的（偶数月）に開催しています。「親の会の運営について」をテーマに、役員選出のしかた・会員を増やすための工夫・会報や情報発信（SNSの活用）などについて情報交換しています。

◎2025年12月20日 23名参加

新入会の団体の方から「切羽詰まって、受験の合理的配慮やICT活用等の情報を求めるニーズは高いが、親の会として何に価値を置いて活動していくか悩んでいる」とのお話もありました。現在は様々な情報が氾濫しており、情報を得れば得るほど不安が増す…という現状もあります。子ども達の将来を見据え、何を大切に情報を取捨選択していくのか、そんな智恵も親の会で共有していけると良いなと感じました。その他、役員の役割分担や負担軽減や引継ぎのための工夫などについて話し合いました。

◎2026年2月21日 16名参加

3グループに分かれて会の運営についての話し合いを行いました。役員個人の業務への勧誘等に会員の個人情報が使われることを防ぐための会の規約記載や、役員からの個人情報保護の誓約書提出について意見交換したいという提案があり、それぞれの会の状況を聞きました。

ちょうど第51回衆議院議員総選挙がおこなわれた直後だったこともあり、会員の個人情報が会務以外に使われないよう規約などに詳しく記載して対応している会の話など、参考になることがたくさんありました。

各グループに分かれてからは、構成調査の話題や会員の減少、役員（評議員）交代や他の会の動向についても話し合いました。「来年度はリアル（対面）で青年の集いを開催したい」との要望も寄せられました。



2026年2月8日に第4回オンライン全国青年交流会を開催しました。

毎回テーマを決めて、全国の青年たちが交流できる場として開催しています。

今回は「今年挑戦してみたい事」をテーマに、2名の青年と役員4名で、それぞれの挑戦してみたい事など、わいわいがやがやと楽しくおしゃべりをしました。

青年の方からは、仕事のことやこれから取得したい資格についてのお話や「陶芸を習っているので、萩焼きを見に行きたい」等、旅行の話題で盛り上がり、今までに行った事のある海外旅行や国内旅行についても自慢し合いました。今回も参加して下さった青年は若干数でしたが、楽しくおしゃべりできました。

次回は未定となっておりますが、高校生も参加可能となっておりますので、興味のある青年の皆さんはぜひ参加してみてください。



日本発達障害ネットワーク(JDDnet)は、発達障害関係の全国および地方の障害者団体や親の会、学会・研究会、職能団体などを含めた幅広いネットワークです。

以下のように第21回年次大会を開催しました。

◎ 2025年12月7日(日) AP東京八重洲にて 第21回年次大会開催

- <内容> ①シンポジウム『「発達障害(児)者支援のためのアセスメント」のアップデート』
言語聴覚士協会・作業療法士協会・特別支援教育士資格認定協会・公認心理師協会
②講演『「発達障害(児)者支援のための研究と施策」のアップデート』
家族支援・外部評価・療育手帳制度・通級について

全国特別支援教育推進連盟は、教育・福祉・労働・医療等関係機関と連携して特別支援教育の更なる充実を目指しています。全国特別支援学校校長会・特別支援学校PTA連合会・当事者団体等が加盟しています。

◎ 要望書の提出

2025年6月19日 加盟団体一同で文部科学省・こども家庭庁を訪問し、全国LD親の会から要望事項をお伝えしました。



◎ 第47回全国特別支援教育振興協議会

「インクルーシブ教育システムの充実を目指して」をテーマに、初の取り組みとして2025年12月23日～2026年1月30日までYouTubeにて配信されました。文部科学省・こども家庭庁の行政説明及び国立特別支援教育総合研究所の事業説明、シンポジウム「共に育ち、共に生きる社会を目指して～特別支援教育のこれから～」では、特別支援学校PTA連合会・特別支援学校校長会等のシンポジストより、地域の学校との交流や共同学習の実践・今後の展望などについてお話いただきました。配信は終了していますが、資料が連盟のホームページにアップされています。

<https://suishinrenmei.jimdosite.com/>

日本障害者協議会の取り組み ～障害者基本法の改正に向けて～



日本障害者協議会(JD)が加盟する日本障害フォーラム(JDF)では、障害者基本法の改正案をまとめて、政府、国会に対して働きかけをおこなっています。障害者基本法は障害者の自立と社会参加に関して、支援の基本原則を定めた法律で、医療や介護、教育、雇用の促進、住宅の確保、選挙など、生活における様々な支援が規定されています。

2011年の改正では障害者差別の禁止等が盛り込まれましたが、その後15年間、一度も改正が行われていません。しかし、改正以降に制定された障害者虐待防止法や障害者差別解消法などの理念など、新しく障害者基本法に盛り込んでいく必要があります。特に、2022年10月に発表された国連障害者権利委員会の総括所見では、日本の法律が障害者の権利を十分に保障していないという問題点が指摘されています。日本障害者協議会でも、障害者基本法JDF改正案についての学習会を開催して、改正の意義や課題などを話しあっています。

東海北陸ブロック交流会を開催しました

開催日：2025年10月4・5日（土日） 愛知県一宮市にて開催

< プログラム >

- ①セミナー「草の根ささえあいプロジェクトの活動から」& ワーク「親の会の未来を考える」
講師：渡辺ゆりかさん（一社）草の根ささえあいプロジェクト代表理事
- ②ビール工房（就労継続支援B型事業所）の見学

東海北陸ブロック4会から30名程が愛知県一宮市に集まって交流会を開催しました。

1日目のセミナーでは、講師より名古屋市での若者支援についてお話を伺い、グループワークで親の会の課題や今後のあり方について語り合いました。愛知県自閉症協会・アスペルデの会からも参加していただき、交流を深めることができました。その後、同じ会場にオードブルと飲み物を持ち込んで懇親会も催しました。



2日目は、一宮市のクラフトビール工房「凸凹BREWWORKS」さんを見学させていただきながら、そこで作業をするB型事業所「トレトレ・クラフト」さんから、事業概要や開業してのご苦労やエピソードなどについてお話を伺いました。2日間を通して、改めて人とのつながりや親の会同士の連携の大切さについて考えを深める機会となりました。

<参加者の感想>

- ・ 支援のない中で工夫して活動してきた熟年世代の苦労へのねぎらいと明るさについて評価していただき嬉しく思いました。
- ・ 皆さん活発に意見交換していただきましたので、たくさん刺激をもらい、年齢的にリタイアも考える日々でしたが、一考する余地ありでした。
- ・ 会の将来についてたくさん話せてよかったです。みんな同じ思いで参加しているので、この気持ちが伝わると思います。

九州ブロック研修会を開催しました

テーマ：「自己理解のサポート ～我が子が自分らしく生きていくために～」

日時：2026年3月1日（日）10：00～12：00

会場：福岡市市民福祉プラザ（対面＋オンライン配信）

講師：坂口 美由紀先生（臨床心理士・公認心理師）



九州ブロック各会から50名を超える参加がありました。（会場参加29名・オンライン25名）坂口先生より、福岡市発達障がい者支援センターの開設当初から支援に携わり、地域に根差した相談の場「カウンセリング小箱」を運営されているご経験から、発達特性のある子どもへの理解と支援について具体的にお話しいただきました。講演では、周囲の理解や集団生活での配慮、家庭での関わり方、本人に任せてみる姿勢、診断名の伝え方、本人が自ら特性を学ぶ重要性など、多くの実践的な声かけ例が紹介されました。

参加者からは「親の期待を無自覚に取り入れてしまうという言葉が刺さった」「普通を求めてカモフラージュしている姿に気づかされた」「先生の“漢方薬のような相談”という表現が心に残った」「家庭内シェアハウスの考え方は親にも子にも良いと思った」などの感想が寄せられ、学びの多い時間となりました。

お知らせ

「ディスレクシア」について知ってもらおう！！ ～毎年10月を「ディスレクシア月間」に～



2023年から、日本でLD/ディスレクシアに関連した事業を実施している主要6団体が、毎年10月を「ディスレクシア月間ALLJAPAN」として、ディスレクシアへの理解啓発を進める活動に取り組んできました。全国LD親の会では、読書バリアフリー法の持つ意味を改めて考えることをディスレクシア月間の取り組みとして位置づけています。地域の公立図書館および学校図書館におけるバリアフリー図書の充実を求めるため、毎年10月、加盟各会に「読書バリアフリー法による情報保障を求める要望書」を公立図書館・学校図書館を管轄する部署宛に提出するをお願いをしていきました。

2019年の「読書バリアフリー法」により、障害の有無にかかわらず誰でも読書ができる環境を整えようと「りんごの棚」を設置する図書館も増えてきました。また、文部科学省の「図書館・学校図書館の運営の充実に関する有識者会議」がまとめた報告書では、司書、学校司書を自治体に積極的に採用することを自治体に求めるとともに、バリアフリー図書（点字図書・拡大図書・録音図書・電子データ等）を紹介するコーナーの設置促進の重要性も明記されました。今後、公共図書館の職員配置基準や学校図書館の整備指針改定につながっていくものと考えられます。

(報告書) https://www.mext.go.jp/content/20260317-mxt_chisui01-000039005_02.pdf

毎年ディスレクシア月間にバリアフリー図書の充実を求めていくことが、読書バリアフリーを進めるサステナブルな活動になると考えています。

お知らせ

親の会リーフレット リニューアルしました

全国LD親の会HPからダウンロードできます。ぜひご活用ください。

リーフレット

https://www.jpald.net/about/pdf/ld_leaflet.pdf

リーフレット



活動紹介ちらし

https://www.jpald.net/about/pdf/ld_flyer.pdf

活動紹介チラシ



お知らせ

SNSでも情報を発信しています！

全国LD親の会の活動や情報を発信しています。 いいね！ やシェアをお願いします。



全国LD親の会HP
<https://www.jpald.net/>



X
https://x.com/jpald_npo



Facebook
<https://www.facebook.com/npojald/>



instagram
https://www.instagram.com/jpald_npo/



お願い

寄付のお願い 全国LD親の会をご支援ください

NPO法人全国LD親の会は、LDなど発達障害の理解啓発や研究事業、本人・家族への支援事業に取り組んでいます。
活動をより充実させるため、ご支援のほどお願いいたします。



振込先：郵便振替口座：00120-3-52748 特定非営利活動法人全国LD親の会
通信欄に「寄付」とご記入下さい。

ご案内

入会案内 会員募集しています！

会員の方には機関紙かけはし・メールにて情報提供します。ブロック活動にも参加できます。
正会員団体・・・各地で活動しているLD等の親の会で、全国LD親の会の活動目的に賛同する団体
準会員団体・・・LD等の親の会で、将来、正会員団体としての入会を目指す団体
個人準会員・・・全国LD親の会の正会員団体がない県に居住する、発達障害の子どもの保護者の方
賛助会員・・・全国LD親の会の活動をサポートしていただける個人ないし団体
賛助会員も、講座やフォーラムに会員価格で参加できます。
(賛助会員の年会費は、個人3,000円・団体5,000円です。)

入会案内



詳細はHPをご覧ください。 https://www.jpald.net/pdf/nyukai_annai.pdf

報告

NPO法人全国LD親の会活動報告

～オンラインを活用して全国の各会会員と交流しています！！～

2025年

- 10月26日～3月15日「自宅でペアレント・トレーニング」(6回連続講座)
- 11月11日 かけはし101号発行
- 11月15日 会員向け学習会「大学在学中の職業準備と卒業後の進路の課題」
- 11月23日 2025年度特別支援教育支援員養成講座参加者交流会&相談会
- 12月14日 会員向け行政勉強会「通常の学級における個別最適な学びと協働的な学び」
- 12月25日 12月役員ミーティング

2026年

- 2月08日 全国オンライン青年交流会
- 2月11日 会員向け行政勉強会「厚生労働省発達障害者施策勉強会&懇談会」
- 2月21日 2月役員ミーティング

理事会開催報告

●第63回理事会報告

開催日：2026年2月8日(日) 16:00～16:30

開催場所：理事長宅

参加者：理事7名

[決議] 第42回評議員会における審議結果を審議し、全員一致でこれを承認した。



発行：特定非営利活動法人全国LD親の会
発行人：井上 育世
事務局：〒151-0053
東京都渋谷区代々木2-26-5 バロール代々木415
TEL/FAX:03-6276-8985
E-MAIL:jimukyoku@jpald.net